

## ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

**1** 学年・教科 6年 国語

**2** 単元名 ガイドブックを作ろう

**3** 実践者（所属） 青木 あゆ子（川崎市立宮崎台小学校）

**4** 活動を始める前に

### （1）準備するもの

インターネット記事や図書資料、実際に行って集めた記事、写真などをワープロ画面で編集した文書。

コンピュータールーム、学習支援システム（スカイメニュー）、児童用統合ソフトウェアのワープロ機能（キューブキッズ2のワープロ）

### （2）ICT機器やメディアの活用のねらい

ガイドブックのレイアウトをワープロ機能を利用して指導するため。

## **5** 指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	・ガイドブックの作成目的や読み手を決め、材料を集める。	・文章や写真の引用と出典を明らかにすること、著作権について指導する。
2・3	・ワープロ機能を用いて、自分なりに記事を編集してガイドブックを作る。	・見出しや目次の作り方について指導する。
4	・（本時）文章を、相手にわかりやすいように推敲する。	・読めない漢字、知らない言い回しを調べたり書き換えたりするよう指導する。

## **6** 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
10分	・文章を書き換えるときのポイントについて確認する。	・練習用のプリントを自分で推敲する。 ・意見交流を通して、推敲の実際のやり方を具体的に確認する。
15分	・推敲のポイントにしたがって、例文で書き換えた方がよい点を話し合う。	
15分	・自分の文章を推敲する。	
5分	・自分の文章で直したところを発表する。	

## **7** 取り組み後の子ども達の変容や成果

紙の上では、一度書くと書き直したり改行したりするのが大変ですが、子ども達でも簡単に直すことができます。

## **8** 応用できます！

社会科や理科の新聞づくりや、国語の作文や読書感想文などでも使えます。